

加入者様各位

2021年11月24日
マツダ健康保険組合
理事長 吉田和久

【お詫びとご報告】ミスによる個人番号漏洩事故の発生について

この度、マツダ健康保険組合におきまして3名の加入者様の個人番号を誤ってメール送信する事故が発生いたしましたので、ここにお知らせいたします。

事故にあわれた加入者様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしたこと、全ての加入者の皆様のご信頼を損ねる結果を招いた点につきまして、深くお詫びいたします。個人情報を取り扱う事業者として、このような事態を招いたことを重く受け止め、これまで以上に個人情報の取り扱いについて、組合内教育及び管理体制を強化してまいります。

記

発生:

2021年9月1日21時頃、弊組合の従業員は個人情報を取り扱う基幹システムのトラブル調査依頼のため、トラブル内容をシステム保守業務の委託先に連絡しようとし、操作画面のスクリーンショット画像を取得しましたが、画像に加入者3名様分の個人番号が含まれていたことに気付かず、外部送信が可能なPCにデータを移動し、圧縮・passwordによる保護をかけた状態で、保守業務委託先にメール送信しました。

発覚:

翌9月2日に業務委託先より、不適切に情報が送られている旨の指摘を受け発覚に至りました。

発覚後の対応:

ただちに弊組合および業務委託先の送受信データをすべて削除するとともに二次流出のないことを確認しました。

報告先:

| | |
|-----------|---|
| 個人情報保護委員会 | 2021年9月3日(電話相談) 2021年11月23日(Webフォームにて報告) |
| 中国四国厚生局 | 2021年9月13日付文書(速報) 2021年11月11日付文書(最終報告) |

事故にあわれた加入者様への連絡:

口頭及び文書にて、お詫びのご連絡をさせていただきました。

事故の要因:

基幹システムから外部送信可能なPCへのデータ移行が管理者承認なしで可能となっていたため、管理者が事前確認ができなかったこと、および『システムトラブル時には管理者に報告の上、対応の指示を仰ぐ』、という運用規程に対し、事故当時管理者が不在であったため担当者が単独で対応を判断・決定したことの、2点が判明しました。

恒久対策:

基幹システムからネットワーク接続PCへのデータ移行の際に管理者承認を必須とすること、組織外宛メールにデータ・リンクが添付されている場合、上長宛コピー配信を必須とすることで、不適切情報の流出の監視を強化するとともに、管理者不在時であっても規程を厳守する旨の周知を個人情報関連規程の教育頻度を高めることで浸透・徹底いたします。

問い合わせ先: マツダ健康保険組合
常務理事/個人情報取扱責任者 朝倉 進
082(287)4644 / kenpo@mail.mazda.co.jp